

令和6年2月16日
(2024年)

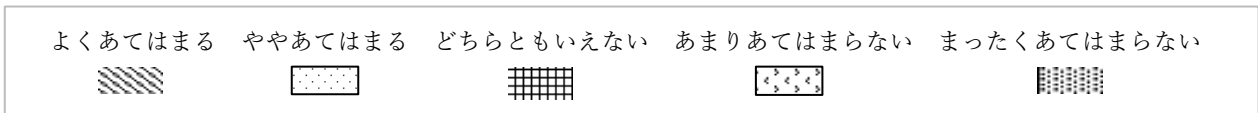
保護者の皆様

吹田市立山田中学校
校長 小早川 靖樹

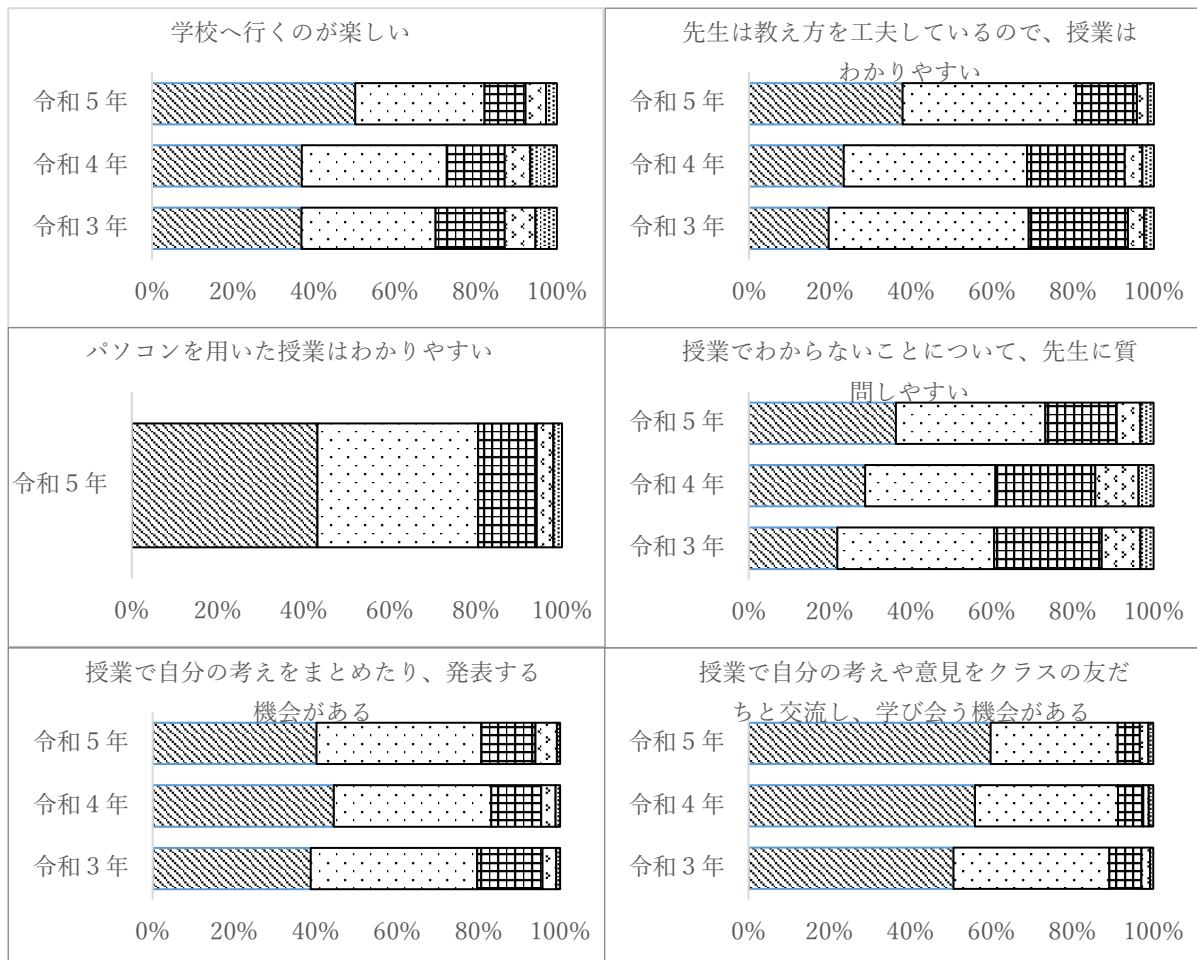
学校教育アンケート結果について

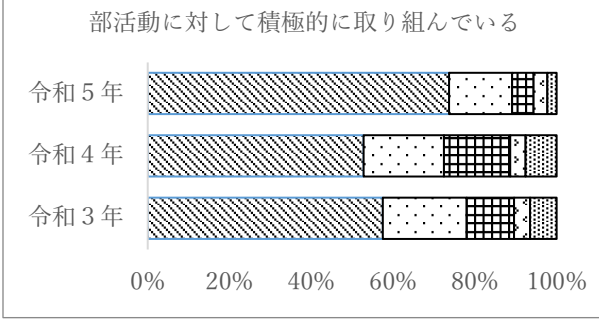
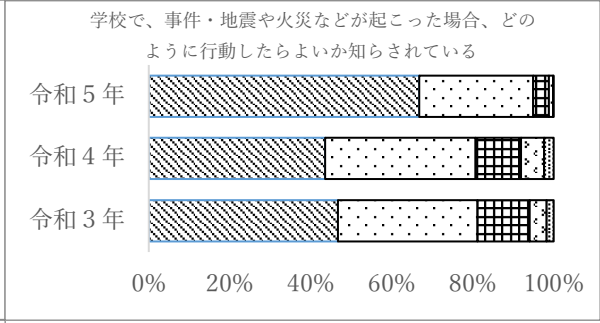
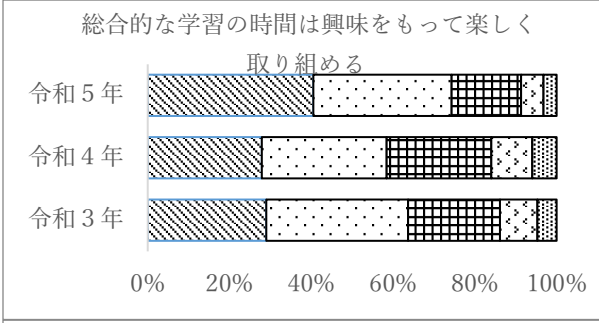
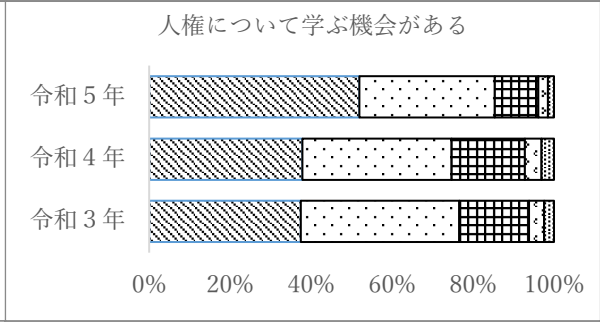
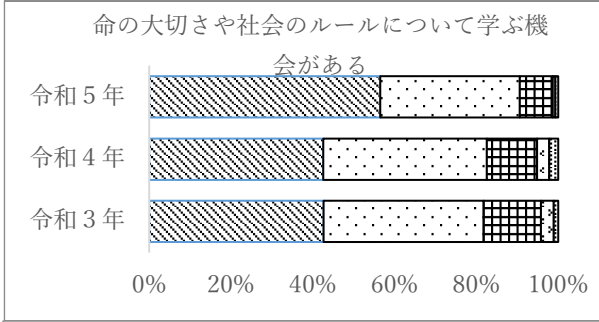
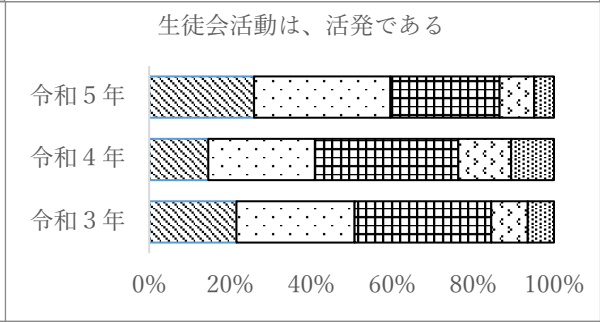
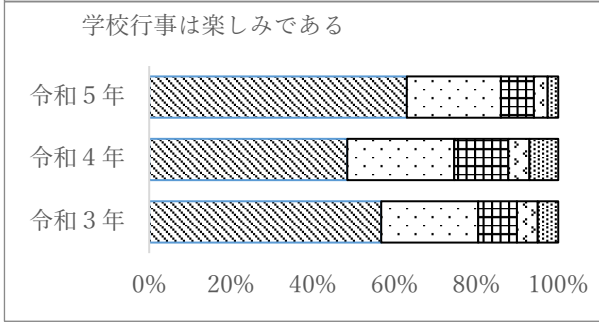
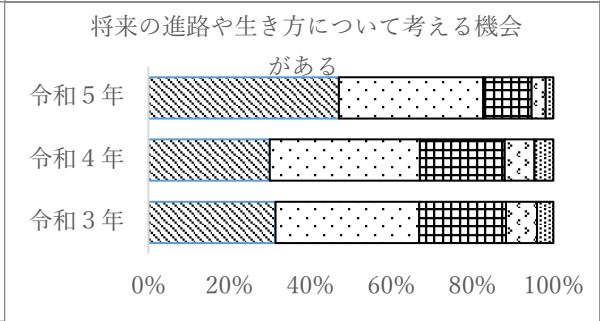
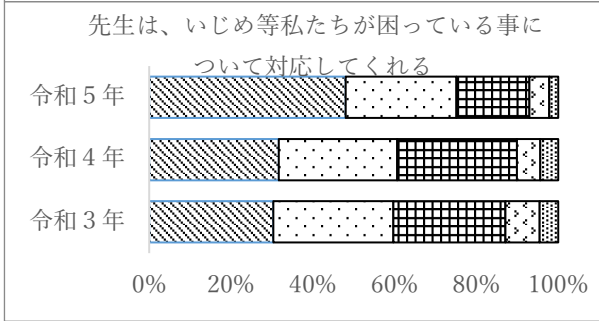
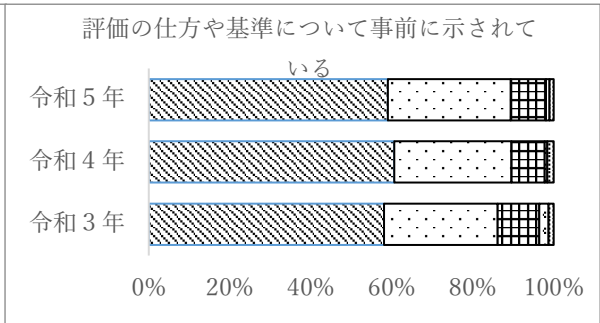
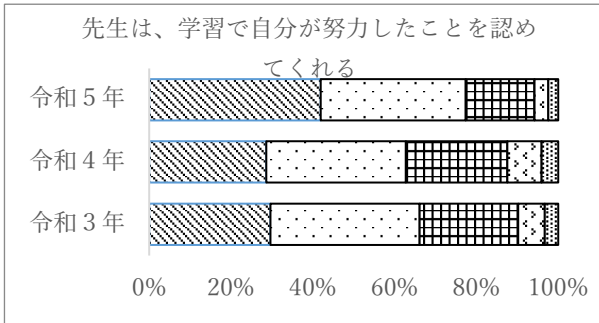
立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年12月にご協力いただきました学校教育アンケートの集計が終わりましたのでお知らせいたします。アンケート結果は教職員で共有させていただき、今後の教育活動の充実に活用してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

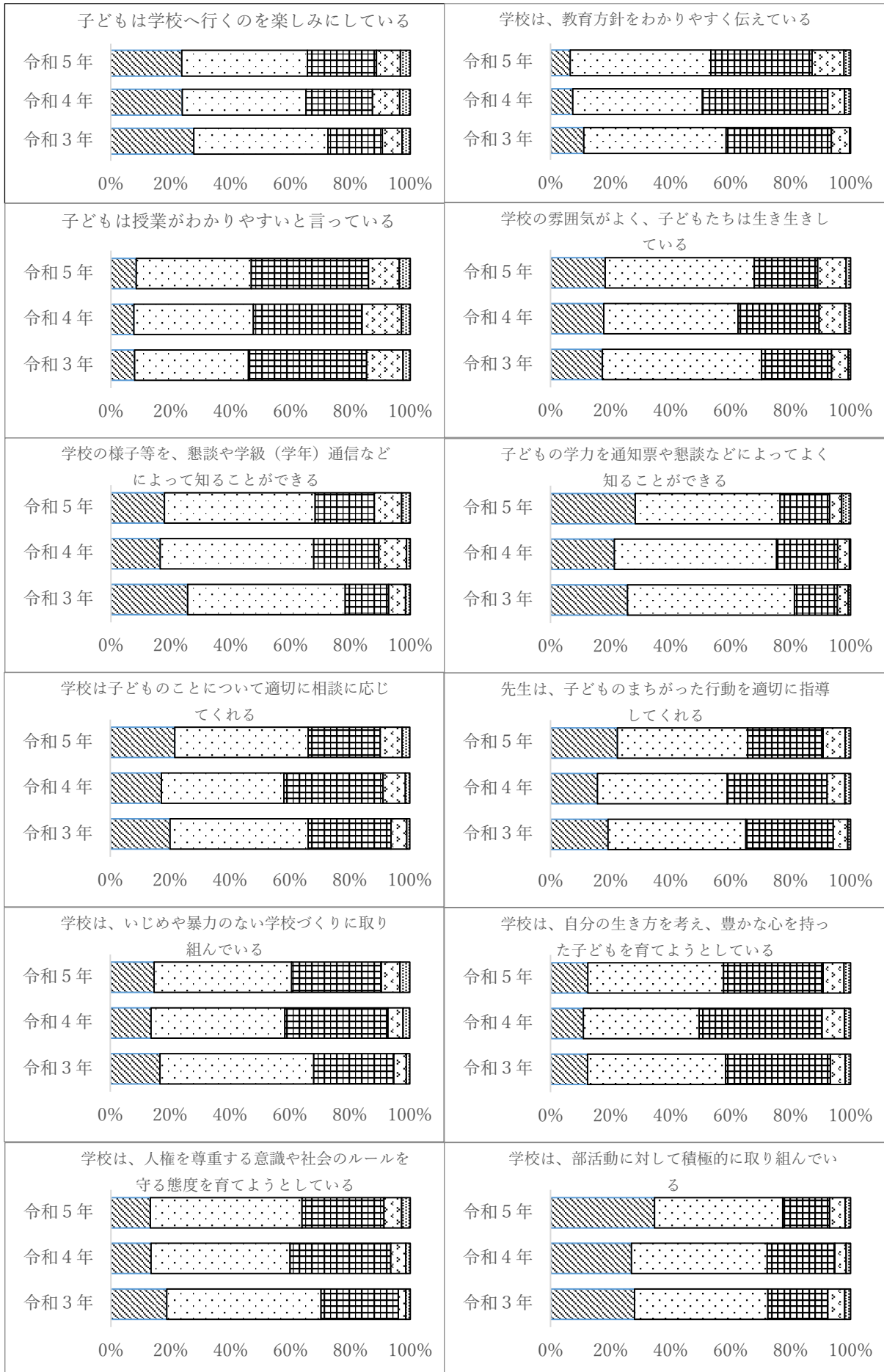


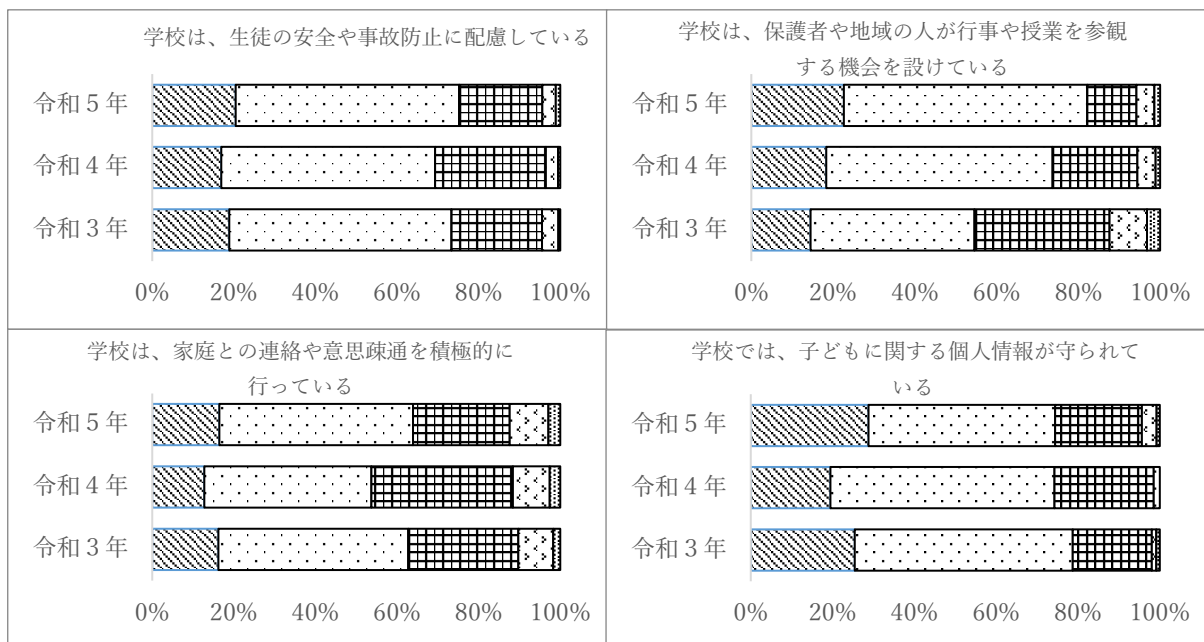
1 生徒アンケート結果





2 保護者アンケート結果





3 結果分析

吹田市立山田中学校 令和5年度 学校経営方針

めざす学校像の実現に向け、すべての教育活動において、子どもたちに付けたい力を明確にして取組みを進め、「安心して過ごせる学校」づくりをめざす。

- 1 学び合い育ち合う同僚性の構築
- 2 生徒に寄り添った教育活動の展開
- 3 思考力、判断力、表現力を伸ばす授業の充実
- 4 とともに助け合い、協力してやりぬく集団の育成
- 5 基本的生活習慣を確立し、自主的に動く自立した生徒の育成
- 6 保護者・地域から信頼される学校づくり

本アンケートでは質問項目を同一のものとし、経年比較を行えるようにしております。また、今年度から、生徒アンケートに新たな質問項目「パソコンを用いた授業はわかりやすい」を加えました。GIGAスクール構想以後、情報機器の環境が一層充実し、その活用と成果（わかる・できる）を把握することを目的としております。

生徒アンケート・保護者アンケートとも、(先述の「パソコンを用いた授業はわかりやすい」を除いて)令和3年度からの3年間の経緯が見えるようにいたしました。ほとんどの項目で、肯定的回答率（「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計）が前年度を上回りました。本校で取り組んでおります教育活動について、生徒だけでなく、保護者の皆様からもおおむね肯定的に捉えていただいていると考えております。

一方、若干ではありますが、昨年度よりも肯定的回答率が低下した質問項目もありました。その質問項目は以下のとおりです。

- | | |
|------|---------------------------|
| 生徒⑤ | 授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。 |
| 保護者③ | 子どもは授業がわかりやすいと言っている。 |

通知表に示されている「観点別学習状況」の各観点については、以下のとおり示されています。

知識・技能	各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、ほかの学習や生活の場面でも活動できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。
思考・判断・表現	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

「学習評価の在り方ハンドブック」(文部科学省国立教育政策研究所 令和元年6月)

授業においては知識・技能をしっかりと習得するとともに、課題解決に向けて必要な思考力・判断力・表現力や、把握・調整しながら主体的に学習に取り組む態度が育まれるよう取り組んでおります。観点間には相関関係が見られることから、どの観点もバランスよく育むことが大切です。生徒アンケート「自分の考えをまとめたり、発表する機会」における肯定的回答率の低下から、特に「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の教育活動が十分に確保されているか点検を図るとともに、更なる授業改善に努めてまいります。

加えて、この観点別学習状況に基づいて行われる学習の中には、明確な正解・不正解(○や×)で示されにくいものも含まれております。思いや考えを表現することの難しさに加え、学習に取り組む中で「わかった」と捉えて表現(記述)したことが「できている」かどうか不明瞭なために、「わかっているとは言えない」と感じているということも考えられます。引き続き、思いや考えを整理し、表現できるようにするための助言・支援を図るとともに、生徒ができるようになったという実感を持つよう適時にフィードバックが行われるよう努めてまいります。

また、生徒アンケート、保護者アンケートの全質問における肯定的回答率(平均)は以下のとおりです。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生徒	72.5%	71.3%	82.0%*
保護者	67.3%	62.3%	66.6%

※同一質問での比較のため「パソコンを用いた授業はわかりやすい」を除く。なお、この質問を加えた全質問の場合は、81.9%となる。

生徒・保護者とも昨年度と比べて肯定的回答率が向上しており、特に生徒アンケートでは大幅な向上が見られました。生徒と保護者とを比較すると、どの年度においても保護者の方が肯定的回答率が低く、生徒の肯定的回答率が低下したときはそれ以上に低下し、向上した場合は生徒ほどの向上が見られませんでした。このことから(保護者アンケート「学校の教育方針をわかりやすく伝えている」の肯定的回答率も踏まえて)、保護者の皆様へ学校の様子が十分に伝わっていない、情報発信がまだまだ不十分であると考えられます。「学校の様子等を懇談や学級(学年)通信などによって知ることができる」の回答に着目し、引き続き保護者から「様子が見える・分かる学校」づくりに努めてまいります。

以上の分析結果をもとに、「わかる」「できる」を実感し、新たな学びに向けて主体的に取り組む授業づくりに努めるとともに、保護者との連携を図るため、一層の情報発信に努めてまいります。今後も引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。